

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和7年度 上半期(4月～9月) 年間 (4月～3月) の管理運営状況)

施設名	萩野センター	指定管理者	医療法人財団 晓
指定期間	令和5年4月1日から 令和10年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A × 100)
業務の遂行状況	開館日数 (日)	245	125	51.0%
	延べ利用者数 (人)	3,200	1,859	58.1%
	事業開催回数	必須事業 (回)	242	124
		自主事業 (回)	500	324
収支状況	収入	指定管理料 (円)	15,198,000	7,599,000
		利用料金収入(売上) (円)	2,720,000	1,580,150
		自主事業収入 (円)	1,600,000	1,923,470
		その他の収入 (円)	0	0
		収入計 (円) …①	19,518,000	11,102,620
	支出	人件費 (円)	12,025,000	6,604,435
		維持管理経費 (円)	5,893,000	4,079,112
		自主事業関係経費 (円)	893,000	558,495
		その他の支出 (円)	0	0
		支出計 (円) …②	18,811,000	11,242,042
		収支 (①-②) (円) …③	707,000	△139,422
		諸経費 (本社運営費など) …④	0	0
総収支 (③-④) (円)		707,000	△139,422	-%

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数については、おおむね計画どおりでした。 利用者数については、前年度上半期と比較して増加し、計画値を上回っています。	【事業の実施状況について】 必須事業については、継続事業に加え、萩野センター独自での演芸等鑑賞会や3センター合同でのプログラムも行いました。 自主事業については、健康麻雀、囲碁サロンが広く認知され、参加者が増えました。また、認知症予防の取組として、そろばん教室や脳トレ、脳体操などの参加者が増えてきています。	【収支状況について】 収入については、必須事業、自主事業ともに新規利用者が増え計画値の半数を超ました。 支出については、利用者の増加に伴い消耗品等の経費が増えたことや物価高騰、トイレの修繕が要因となり計画値の半数を超ました。そのため総収支としてはマイナスとなりました。今後も収支バランスの適正化に努めます。
---	--	---

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 計画どおりに開館できており、利用者の増加につながったことは評価できます。今後も広報活動に力を入れ、利用者数の増加に努めてください。	【事業の実施状況について】 必須事業については、継続事業に加え、独自でのプログラムを取り入れたことは評価できます。自主事業については、周知により参加者の増加につながっています。引き続き、周知を行い、参加者の	【収支状況について】 利用者数の増加に伴い収入が計画値の半数を超えていることは評価できます。引き続き、利用者数の増加、経費の節減を図り、収支バランスの適正化に努めてください。
--	--	--

増加に努めてください。

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人	人員配置計画、実地、出勤簿 5人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年	研修マニュアル 実施回数6回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	100%	人員配置計画 100% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿、就業規則等 適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル 適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書 適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地 適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地 適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

必須事業については、新規利用者が退所者数を上回り登録人数が7人増えました。特に自主事業参加と合わせた必須事業利用者が増えています。引き続き、市や地域包括支援センターとの連携に努め、事業周知を行い利用者数の増加を図ります。

自主事業については、麻雀と囲碁サロンが広く認知され、男性の参加者が増えています。5月には第3回げんき応援祭を開催し、3センターの周知に努めました。今後はそろばん教室の参加者増を見込んでおり、ニーズの高い認知症予防に力を入れようと考えています。いずれの事業も既存の利用者から勧誘による新規申込みも多く、また、複数の講座に参加している利用者が多く、事業の利用満足度の向上も見られます。

今後も参加者の増員と利用満足度の向上に努めていきます。

所管課による所見（指摘事項など）

利用者数が増加しており、センターでの取組が十分に周知されていると評価できます。事業内容に関しても参加者のニーズを把握し、プログラムの選定を行うなど状況に合った対応ができるおり、今後の展開が期待できるところです。引き続き、周知による参加者の増員やニーズの把握による利用者満足度向上に努め、地域の福祉拠点としての取組を心掛けてください。